



演

第19回

大府公民館



唱



芸



舞

能

祭

謡

吟

桃山保育園
手話!!



大府保育園
元気!!

ふれあい

大府コミュニティ

編集発行

大府コミュニティ
推進協議会
調査広報部会
事務局
大府公民館
TEL48-1007



助けあう

家庭と地域を

創造しよう



大府公民館
チャレンジクッキング
環境部会協賛

大府公民館
おこしもの作り
文化福祉部会協力



御存じですか？

大府小学校区地域ネットワーク

連絡先
大府小学校
46-5151

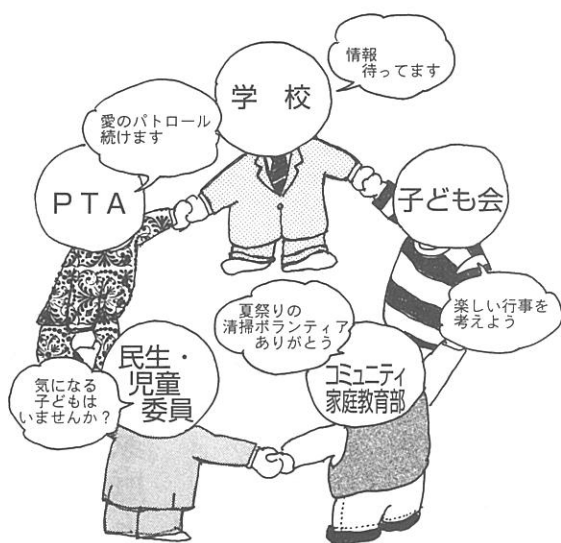
よい情報も
どうぞ！

今から40年程前、子どもたちは隣近所のおばさんたちの顔をだいたい知っていました。「〇〇ちゃんのおばちゃん」や「〇〇ちゃんのおじいちゃん」にあいさつしたり、おこられたり。「コミュニティ活動」とか「学校と地域の連携」などという言葉を目にするにはなくとも、みんなに温かく（時には厳しく）みまもられていたような気がします。失ってしまったものは何なのでしょう。とりもどせるものはないのでしょうか。

大府小学校区地域ネットワークは平成8年に発足し、地域の小中学生をまわりのおとなたちみなでみまもっていくためにできた連絡会です。

<あいさつ運動>

あいさつは明るい
地域の第1歩



毎月第1土曜日
大府小学校にて



<子ども会やコミュニティなどの行事への参加呼びかけ>

学校5日制も近づいてきました。運動会、ゴミゼロ運動、夏まつりなどで楽しい思い出作りをしたり、ボランティア活動など人やふるさとを愛する心を育てていけるといいですね。

<情報交換の必要性>

記憶に新しい5000万円恐喝事件はすぐ隣町で起きています。残念なことに大府小学校区の不審者の出沒もあとをたちません。

平成10年には「通学路こども110番の家」が発足しました。

もちろん、いつでも、だれでもどの家でも助けをもとめればいいのです。地域の暖かい目が子どもたちを守ります。



通学路
こども
110番
の家

けいざつしよ

番号	職 業 等	位 置
1	開 澤 商 店	大 府 中 学 校 北 隣
2	飯 田 肇 宅	桃 山 保 育 園 南 方
3	杉江商事ガソリンスタンド	桃 山 町 二 丁 目 交 差 点
4	金 子 昭 子 宅	桃 山 公 園 南
5	フードショップ八百庄	川 池 南 交 差 点
6	相 羽 群 恵 宅	い き い き タ ウ ン 南
7	み よ し 旅 館	川 池 東
8	山 下 住 建	石 亀 公 園 東
9	首 藤 鉄 工 所	弁 天 橋 東
10	カ ミ キ ン 建 設	地 蔵 院 南
11	織 と 染 む ら せ	大 府 公 民 館 南 方
12	尾 三 熔 材	フルタ電機技研工場西方
13	近 藤 建 鉄	レインボー大府桃山南方
14	永 井 製 作 所	熱 田 神 社 参 道 前

交通安全

「ゆっくり
走って
なぜ悪い」

二月十日、午後一時半より大府公民館大ホールにおいて交通安全啓発の午後による「交通安全啓発の午後」が開催されました。

初めに幹部交番署長の二宮氏により事故実態と特徴点（市内死亡事故のほとんどが夜間におこっている）が話されました。

「交通事故だから犯罪じゃない。過失だ!!」とは考えないでください。速度違反がもっとも危険です。車のアクセルを少しふめば百キロでも百五十キロでもスピードはすぐに出ます。いつでもあなたが犯罪者になりうる。加害者、被害者の悲しみ、そして家族の悲しみ、わずかな不注意により様々な悲劇が生まれている実態を話されました。

また、交通安全映画の上映や協力者によるマジックショーも行われました。百五十人の参加者全員により「交通安全宣言」が唱和され、最後にあったかいぜんざいに舌鼓を打って散会しました。



交通安全
啓発の午後
「交通安全部会」



環境部会だより

ごみ産業廃棄物
不法投棄
地域巡視
パトロール
3月14日実施



あの人この人

地域の環境づくりに貢献！

岡田 武 さん

中央町 七

みなさんの家庭から毎日大量に出るゴミ。収集していただくのは、ご存じ、あのブルーのオオブユニティの収集車です。大府コミュニティでも、毎年「ゴミゼロ運動」でお世話になっていますが、今回登場していただいた岡田武さんはそのオオブユニティ株式会社で四十年余りも地域社会や産業界の環境整備に取り組んでこられました。生活様式や社会構造が大きく変化していく中で、ただ捨てればよいという時代は過去のものとなり、廃棄物は「処分」から「技術的に処理」という手法で減量化と地球資源の保護がはかられます。常に新技術やサービスの研究開発、導入に努力が必要とされ、その実現のためには、地域の人々や行政との連携が不可欠だそうです。

さて、地元の大府中学校では三年生の夏休みに、勤労体験学習として近隣の商店・企業・農家・公共施設などに協力をお願いして、生徒達が一日「働く」という体験をさせてもらいます。オオブユニティ株式会社でも毎年何人かを受け入れていただいております、実際にゴミ収集車に同乗させてもらい、収



集を経験します。自ら希望してきた生徒達が三人一組のチームに加えてもらい、社員の方々に指導を受けながら、暑い中がんばる姿が目につかびます。とはいえ、効率の点だけを考えてもあまりメリットはなさそうなのに他の協力先も同様ですが、心よく引き受けて下さる理由をお伺いしました。岡田さんは、「若い世代が一番身近な環境問題である大量のゴミを目の当たりにして、どんな出し方をすればよいか、どんな生活をすれば地球にやさしいか、など少しでも考えてくれれば、と願うからです。」とこやかにお願いします。

けれどもこの体験学習時には何よりも「安全作業」と「事故防止」に細心の注意を払われるそうです。社員の方ももちろんですが、ゴミに混入されている串、カミソリ、ガラスなどでケガをしないように、道路上での作業が多いため、車・自転車・歩行者に気をつけるようにと何度も念を押さなくてはなりません。生徒達には「働く」ことの意味の他に、ふだん何げなく捨てているゴミについて考えることが環境問題へのアプローチとなる重要な体験になっているはずだ。

生まれたばかりの子ネコがダンボール箱に入れられ、収集車に積まれる寸前に鳴き声をあげ、あやうく命が助かるんですよ、と切なげに話される岡田さんは、動物好きでとてもやさしい方ようです。今までもいろいろ飼われたそうですが、現在は文鳥を八羽飼っておられ、二組のつがいの卵がか

えり、ひなが順調に育つのを楽しみにしていらっしやいます。ちなみに命拾った子ネコはやむなくその場に置かれますが、やさしい人に拾われて元気に育っていると信じたいですね。

今回お話を伺って、地域の人々が将来にわたって気持ちよく暮らしていくためには、やはり身の

回りの小さなことからルールを守って生活すること、それが環境問題の解決への第一歩なのだとの思いを新たにしました。岡田さんが長年の経験を生かし、地域環境のためにますますご活躍されるよう期待しています。

— A —

平成13年度 大府コミュニティ 総会開催

●とき
4月21日(土) 午後7時半より
●ところ
大府公民館大会議室

あとがき



新年度がスタートしました。いろいろな人生の峠で、不安になることもしばしばです。むかし習った詩の一節「大きな喪失に耐えてのみ、新しい世界がひらける」を思い出します。

話題のベストセラー『チーズはどこへ消えた?』にも、「変化ばんざい!」とありました。さあ皆さんも新しいチーズをみつけましょう。